

## 日本スポーツ心理学会第 38 回大会第 2 号通信

### ご挨拶

梅雨の候、会員の皆様には相変わらずご多忙な日々をお過ごしのことと推察申し上げます。

この度の未曾有の地震、津波に遭われた方々、関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、犠牲になられた方々に深い哀悼の意を表します。そして一日も早い復旧が実現されますことを強く願うばかりです。

さて、日本大学で開催される本年度学会大会の概要が、決定しましたのでお知らせいたします。このような時期ではありますが、企画された行事に多くの皆様が積極的に参加され、第38回大会を盛り上げてくださいますよう、よろしくお願いいたします。有意義な発表、討論が展開され、今後のスポーツ心理学の発展に寄与する大会になることを期待しています。

大会委員長 吉本俊明

### 1. 大会概要

- 会期：2011年10月8日（土）～10日（月）

10月8日（土）にはスポーツメンタルトレーニング指導士資格認定委員会の講習会・研修会、および自主シンポジウムを予定しています。

- 会場：日本大学文理学部（東京都世田谷区桜上水3-25-40：<http://www.chs.nihon-u.ac.jp/>）

京王線 下高井戸駅あるいは桜上水駅下車 徒歩8分、東急世田谷線 下高井戸駅下車 徒歩8分。

- 日程：図1をご参照ください。

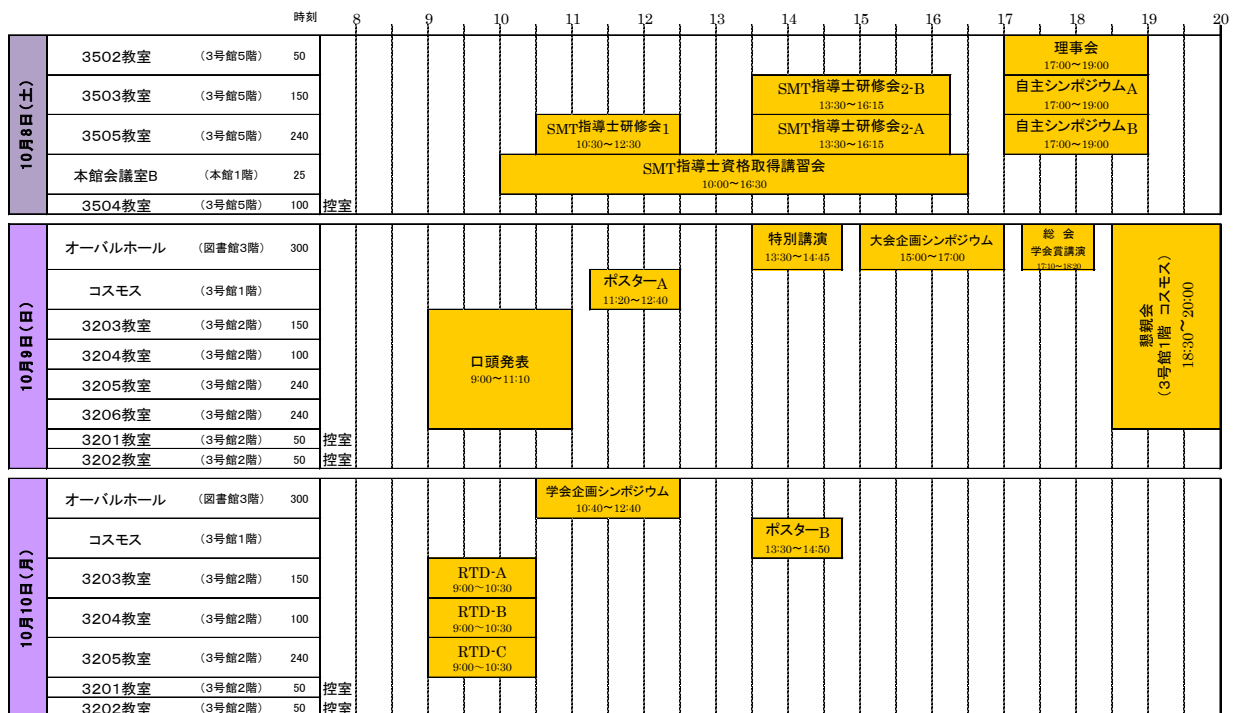


図1 日程表（予定）

## 2. 参加申込み

- 参加申込みは Web 登録のみとなります。8月15日(月)までに、「参加申込みフォーム ([http://www.nu-taiiku.jp/congress/?page\\_id=74](http://www.nu-taiiku.jp/congress/?page_id=74))」から事前登録をお済ませください。
- 8月16日(火)以降の申込みにつきましては、当日参加料金となります。
- 参加費の納入は、同封の払込取扱票にて行ってください。Web ページから参加申込みを行った後、参加費の納入をもって手続き完了となります。どちらか一方では完了となりません。
- 参加申込みをする際、一般発表、抄録集購入、懇親会参加、SMT 指導士研修会参加、それぞれの有無をお知らせください。
- 口頭・ポスター発表を希望される方は、「3. 口頭・ポスター発表申込み」をご参照の上、「発表申込みフォーム ([http://www.nu-taiiku.jp/congress/?page\\_id=76](http://www.nu-taiiku.jp/congress/?page_id=76))」から発表申込みを必ず行ってください。
- 入金に際しては、1名に対して払込取扱票1枚を使用してください。1枚で複数名の払込みはご遠慮ください。
- 同封の「ゆうちょ銀行払込取扱票」のチェック欄(図2)をご参照ください。ご希望項目をチェックした上で合計金額をお支払いください。
- 大会事務局が用意した「ゆうちょ銀行払込取扱票」をお持ちでない方(紛失含む)は、下記の通り払込みください。郵便局備え付けの「ゆうちょ銀行払込取扱票」をご利用ください。

<払込み先>

口座の種類：ゆうちょ銀行振替口座

口座番号：00100-7-651887

口座名称：日本スポーツ心理学会第38回大会事務局

**【重要】**通信欄に、以下の情報を正確にご記載ください。

- 会員種別：一般会員、学生会員、非会員

<以下のうち、支払に含まれる項目名を記入してください>

- 懇親会費：一般会員、学生会員、非会員
- 抄録集購入費：冊数
- SMT 指導士研修会参加費：一般会員、学生会員、資格取得者

※該当する金額に○をしてください

		大会参加費			懇親会費		
		事前申込み	8月16日以降		事前申込み	8月16日以降	
会員	一般	¥7,000	¥9,000		¥3,500	¥4,000	
	学生	¥3,500	¥4,500		¥1,500	¥2,000	
非会員 (一般、学生の区別はない)		¥9,000	¥10,000		¥3,500	¥4,000	

研究発表抄録集	¥2,000	( )冊	(購入希望冊数を記入してください)
---------	--------	------	-------------------

SMT指導士研修会費		
事前申込みのみ		
一般会員	¥5,000	
学生会員	¥4,000	
資格取得者	¥3,000	

合計金額 ( )円
-----------

図2 ゆうちょ銀行払込取扱票チェック欄

- 東日本大震災で被災された会員の皆様へ

この度の東日本大震災で被災された方々、関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

日本スポーツ心理学会は、被災された本学会員の皆様に対して、本年度の年会費、第 38 回大会の大会参加費、懇親会費、研究発表抄録集にかかる費用、さらに SMT 指導士研修会参加費を免除することといたしました。

被災された会員の方には、「大会参加申込フォーム」による参加申込みの際に、フォームの「東日本大震災での被災について」にチェックを入れていただき、お送りしました「ゆうちょ銀行払込取扱票」は破棄してください。また、研究発表抄録集のみご希望の方は、その旨を大会事務局までご連絡ください。

### 3. 口頭・ポスター発表申込み

- 口頭・ポスター発表申込みは Web 登録のみとなります。8 月 15 日までに、「発表申込みフォーム ([http://www.nu-taiiku.jp/congress/?page\\_id=76](http://www.nu-taiiku.jp/congress/?page_id=76))」から登録をお済ませください。
- 希望発表区分（「口頭発表」、「ポスター発表」、「どちらでも可」のうちいずれか）を選択してください。
- 発表抄録は、抄録のテンプレートをダウンロードの上、指定した様式に沿って作成してください。
- 発表抄録のアップロードは、doc, docx, pdf のファイルに限ります。
- 抄録の差替えや修正等、2 回以上の申込みの場合は、大会事務局までご連絡ください。
- 必ず参加申込みをお済ませください。参加・発表申込みの両方の手続きにて発表申込み完了となります。

※以下、2 点に該当する場合は発表を取り下げてください場合があります。ご来場の有無にかかわらず連名発表者分の参加費の払込みが必要です。

- 筆頭発表者がスポーツ心理学会員でない場合
- 8 月 15 日までに発表者（連名発表者含む）の大会参加費納入が確認できない場合

### 4. シンポジウム、ラウンドテーブルディスカッション (RTD) の発表抄録

- 学会企画シンポジウム、大会企画シンポジウム、自主シンポジウム、RTD の企画者あるいは司会者は、発表抄録を 8 月 15 日までにアップロードしてください。
- 「シンポジウム、RTD 抄録提出フォーム (<http://www.nu-taiiku.jp/pe/mail.cgi?id=shinpo>)」から Web 登録を行うとともに抄録のファイルをアップロードしてください。
- 発表抄録は、抄録のテンプレートをダウンロードの上、指定した様式に沿って作成してください。
- 発表抄録のアップロードは、doc, docx, pdf のファイルに限ります。
- 抄録の差替えや修正等、2 回以上のアップロードの場合は、大会事務局までご連絡ください。

### 5. 大会・学会企画（開催日時順）

特別講演「先天盲の開眼と視運動系活動」

講師：鳥居修晃 先生（東京大学名誉教授）

**概要：**視覚の機能は運動系の活動と深くかかわり合っているが、このことを最も端的に示す資料の一つとして、先天盲開眼者の視覚障害状況に関する観察・研究を挙げることができる。手術を受けた直後光に向かって眼を開いても「ものが見えない」という開眼者自身の報告もさることながら、視野も通常とは違って、眼球を意図的に制御することも困難という状況は注目に値する。W.モリヌークス（モリヌー）は、17世紀末頃すでに開眼しても「立方体と球」の弁別ができないことを予測しているが、それが可能になるまでには、実際には一定の順序を踏んで視運動系活動の形成を図らなくてはならない。にも拘わらず、その形成過程に関する研究はまだ極めて乏しいのが現状であり、海外でのごく最近の研究さえも、術後の最初期の状態を調べているだけである。本講演では、十数人の先天盲開眼者たちとわれわれとが協同で、年来追及し、明らかにしてきた術後の視運動系活動の形成過程のうち、以下の項目に関わる資料について紹介する。



- (1) 問題の発端, (2) 先天盲と保有視覚, (3) 開眼手術とその直後の状況, (4) 視運動系活動の発生とその展開, (5) 形（2次元と立体）の弁別・識別と逐次の探索操作活動, (6) 事物のもつ属性とその抽出および統合, (7) 事物とその在り場所, (8) 顔の識別

**日時と会場：**10月9日（日）13：30～14：45 オーバルホール（図書館3階）

#### 大会企画シンポジウム「ロンドン2012オリンピック・パラリンピックに向けての心理サポート」

**企画・司会：**荒井弘和 先生（法政大学）

**演者：**小椋久美子 氏（バドミントン・北京オリンピック日本代表・カイエンタープライズ株式会社）

「オリンピックのこころの課題とその対処」

立谷泰久 先生（国立スポーツ科学センター）「オリンピック日本代表選手の心理的課題と心理サポート」

橋口泰一 先生（日本大学）「パラリンピック日本代表選手の心理的課題と心理サポート」

**指定討論者：**検討中

**概要：**ロンドンオリンピック・パラリンピック大会を目指す選手に関連する研究を取り上げる。心理的課題への選手自身の取り組みと、それをサポートする心理スタッフの研究を紹介し、その成果を心理サポートに繋げるための方策を検討する。

**日時と会場：**10月9日（日）15：00～17：00 オーバルホール（図書館3階）

#### 学会企画シンポジウム「スポーツにおける運動イメージの研究成果と課題」

**企画・司会：**荒木雅信 先生（大阪体育大学）

**演者：**彼末一之 先生（早稲田大学）「運動イメージと脳活動」

小谷泰則 先生（東京工業大学）「運動イメージの応用性と今後の課題」

**指定討論者：**正木宏明 先生（早稲田大学）

**概要：**イメージ研究は、言語や思考分野と関係が深い哲学や心理学、特に知覚、思考、記憶などの認知的（脳）機能に関心の深い研究者などによって研究されてきた。その場合の課題の多くは、静的な文字・記号、図形や画像（絵、写真、パターンなど）など、まさに知覚や記憶、それに思考機能が必要な刺激課題が用いられている。そこで、本シ

ンポジウムでは、スポーツ場面で用いられるダイナミックな「運動イメージ」に特化して提案する。さらに、この分野では静的なイメージ課題に比して動的なイメージ課題の研究成果は研究手段の遅れから、運動選手の VTR の映像が主流を占めているのが現状である。これ自体はよい課題であるが、他方、実験室内での動的刺激に対するイメージ研究には、系列刺激やタイミングなどのトラッキングなどの連続刺激課題が考えられるが、これらの「イメージ」測定はあまり多く行われていないのが現状である。以上の点を考慮して、最近の神経心理学やメンタルトレーニングでの“イメージ”の脳科学分野の研究成果を概観し、その知識をさらに深めることを目的とする。

日時と会場：10月10日（月）10：40～12：40 オーバルホール（図書館3階）

## 6. 会員企画（開催日時順）

### 自主シンポジウム

#### A：「疫学アプローチによる大学体育の新知見の創出とその可能性」

企画・司会：山津幸司 先生（佐賀大学）

演者：清水安夫 先生（桜美林大学）

島本好平 先生（兵庫教育大学）

山津幸司 先生（佐賀大学）

指定討論者：木内敦詞 先生（大阪工業大学）

**概要：**我が国でも大学生の体力低下やメンタルヘルス低下が深刻な問題となりつつある。一方、大学体育を含めた学校体育は大多数の青少年と接触可能であり、大学生の健康づくりやメンタルヘルス対策を行うのに理想的な場である。また、大学体育の必修化率は国公立大学・短大を含めると 75.7%であり、今後も必修化率の低下が懸念される。この流れを防ぐ方法のひとつは、大学体育の教育効果や有用性を客観的に評価し、大学体育を今後も継続すべきというコンセンサス形成の努力を続けていくことであろう。そのような観点から、大学体育を運動行動などの変容やライフスキル形成の場と位置づけた介入研究や大学体育の場での大学生の心身の健康に関する縦断的研究といった疫学的手法を用いた研究成果も報告され始めている。そこで、本シンポジウムでは、大学体育に疫学的な研究手法を活用した学生支援や健康支援の成果を報告するとともに、疫学アプローチを用いたスポーツ心理学研究の今後の可能性や課題について考えてみたい。

日時と会場：10月8日（土）17：00～19：00 3503 教室（3号館5階）

#### B：「スポーツ集団研究の成果を語る ―ラボ研究からフィールド研究へ―」

企画・司会：土屋裕睦 先生（大阪体育大学）

演者：内田遼介 先生（大阪体育大学）

河津慶太 先生（九州大学大学院）

永尾雄一 先生（国立スポーツ科学センター）

山浦一保 先生（立命館大学）

指定討論者：阿江美恵子 先生（東京女子体育大学）

**概要：**スポーツ集団が実力を発揮するまでのプロセスについて科学的な説明を試みる場合、あらゆる手段が考えられ

る。例えば、方法論一つをとっても、質的な研究手法によってアプローチするのか、あるいは定量的な手法によってアプローチするのかは研究者によって判断が分かれるであろう。当然、どのような心理学的概念を用いて説明するのも異なってくる。本シンポジウムでは、スポーツ集団が実力を発揮するまでのプロセスについて、現在、どのような視点からの説明が試みられているのかに焦点を当てて紹介する。具体的には、近年スポーツ集団を研究対象としている若手研究者を中心に、様々な視点から得られた最近の研究成果について報告してもらう。そして、異なる視点から得られた研究成果を個別に吟味し、最終的に各々の研究成果をどのような方法によって統合（一般化）していくのか、あるいはどのようにスポーツ現場へ還元していくのかについてフロアとの議論を交えながら検討する。

**日時と会場：**10月8日（土）17：00～19：00 3505 教室（3号館5階）

#### ラウンドテーブルディスカッション（RTD）

##### A：「集団スポーツのダイナミクスを探る」

**企画：**門田浩二 先生（大阪大学）

宮崎 真 先生（高知工科大学）

**司会：**樋口貴広 先生（首都大学東京）

**演者：**山本裕二 先生（名古屋大学）

木島章文 先生（山梨大学）

山際伸一 先生（高知工科大学）

横山慶子 先生（日本学術振興会・北海道大学）

**概要：**スポーツ種目の多くは複数の選手が同時にプレーする「集団」競技であり、選手個々のスキルだけでなく集団としてのスキルが重要となる。それにも関わらず、従来のスキル研究は個々の選手のふるまいを対象としたものに偏重しており、集団のふるまいに焦点を当てた報告は多くはない。これは研究者の興味そのものの偏りというよりは、集団のふるまいを捉える計測技術や方法論が未成熟であることに起因しているのではないだろうか。このRTDでは、集団競技のふるまいを科学的研究のステージにあげるための先鞭となりうる最新の計測法、解析法、理論モデルを利用したアプローチを紹介する。この領域において既に一定の成果を収めている4名の研究者の話題提供を通じて、スポーツ行動における集団のダイナミクス研究（計測、可視化・抽象化、法則性の抽出）の現在を概観し、今後の研究への展望・要望、スポーツ現場での活用方法について議論したい。このことは、スポーツにとどまらず実社会における人間の集団行動への応用展開までを射程に収めた議論を目指すことになる。

**日時と会場：**10月10日（月）9：00～10：30 3203 教室（3号館2階）

##### B：「スポーツにおける動機づけの環境要因」

**企画：**西田 保 先生（名古屋大学）

**司会：**佐々木万丈 先生（日本女子体育大学）

**演者：**藤田 勉 先生（鹿児島大学）

洪倉崇行 先生（新潟県立大学）

**概要：**これまでの動機づけ研究では、個人的な要因（動機、期待、有能感、自己決定、達成目標など）を中心として

理論が構築され、それに依拠した多くの研究が蓄積されてきた。しかしながら、最近では、子どもや競技者を取り巻く学習環境（動機づけ雰囲気、環境の認知など）、人間関係（友人関係、指導者との関係など）の重要性が指摘されてきている。これは、例えば、個人の動機や有能感を充足させるような学習課題が提供されたとしても、その課題を友人や指導者とのような関わりの中で遂行していくのかによって、個人の動機づけや学習意欲が大きく影響されると考えられるからである。そこで、本 RTD では、個人を取り巻く環境要因の中から、①動機づけ雰囲気（演者：藤田先生）②仲間や指導者との関係性（演者：渋谷先生）に焦点をおき、これまでの研究および実践上の問題点や今後のアイデアなどについて、参加者と一緒に議論することにした。

日時と会場：10月10日（月）9：00～10：30 3204 教室（3号館2階）

### C：「私たちは“国際化”から何を得ようとするのか？：ASPASP 第7回大会の誘致に向けて」

企画：竹中晃二 先生（早稲田大学）

司会：磯貝浩久 先生（九州工業大学）

演者：三木ひろみ 先生（筑波大学）

荒木香織 先生（兵庫県立大学）

堤 俊彦 先生（福山大学）

磯貝浩久 先生（九州工業大学）

**概要：**研究を国際化していくことは、それぞれの文化、慣習、帰属スタイルから生じる研究成果を見せるという意味で研究内容のオリジナリティを示すことになり、一方、他国との違いに気づくことでわが国の状況や場面に適合した研究を構築することにつながる。わが国のスポーツ心理学研究が将来目指すべき事柄は、欧米などスポーツ心理学先進国における研究の援用にとどまるのではなく、世界に対してオリジナリティを示し、同時に当該研究におけるさらなる発展に寄与するものでなければならないと考える。そこで、本 RTD では、スポーツ心理学を国際化することが、わが国において、何に対して、どのように役立つのかを明確にすることを目的に、現在、「国際化」に関わって共同・比較研究、または研究集会を企画・実践している研究者が当該テーマについて発表を行い、加えて ASPASP の第 7 回大会の日本への誘致に向けた心構えとしたい。

日時と会場：10月10日（月）9：00～10：30 3205 教室（3号館2階）

### ワークショップ

応募なし

## 7. スポーツメンタルトレーニング（SMT）指導士研修会・資格取得講習会

### 7.1 スポーツメンタルトレーニング指導士研修会のお知らせ

平成 23 年度のスポーツメンタルトレーニング指導士研修会を以下のように開催いたします。午後の研修 2 は、資格取得者（研修 2-A）とそうでない方（研修 2-B）で分かれますのでご注意ください。皆様のご参加をお待ちしております。なお、本研修会は初心者・初級者向けではありませんので予めご承知おきください。

日本スポーツ心理学会 資格認定委員会

日時 (図1参照) : 2011年10月8日(土) 10:30~16:15 (受付: 10:00~)

会場 (図1参照) : 日本大学文理学部3号館5階 3505教室, 3503教室

参加資格 : 日本スポーツ心理学会会員であること。なお, 参加者には, 日本スポーツ心理学会認定「スポーツメンタルトレーニング指導士」の資格認定ならびに更新に関わるポイントとして2ポイントが与えられます。

参加費 : a. 資格取得者 : 3,000円

b. 一般会員 : 5,000円

c. 学生会員 : 4,000円

参加定員 : 100名

申込み方法 : 学会大会の参加申込み(大会参加申込フォーム)と合わせて申し込んでください。なお, 当日は申込みをしたことが確認できるものを研修会受付に提示してください。

締切り : 学会参加申込み期限(8月15日)と同日です。参加希望者は申込み期日を厳守してください。なお, 当日参加はできません。必ず事前に申込みをしてください。

研修日程と内容 :

10:30~10:40 挨拶 : 岡澤祥訓 先生 (資格認定委員長)

10:40~12:30 研修1 : 「ブリーフセラピーと東洋的行法」(仮)

講師 : 森山敏文 先生 (広尾心理臨床相談室, 臨床心理士)

13:45~16:45 研修2 (2会場)

・研修2-A (有資格者のみ) : 事例検討会

事例提供者 : 未定 (公募)

司会, 指定討論者 : 未定 (調整中)

・研修2-B : 「実践の振り返り方」または「見立ての方法」(仮)

講師 : 未定 (調整中)

16:15~ 修了式および受講証明書配布 (研修会アンケートと引換え)

※研修会終了後, レポート(アンケート)を配布・回収し, 研修についてのご意見や, 今後のご要望などについてご意見をお聞かせいただきたいと思っています。全プログラム参加者には, 修了証を発行します。

※研修2-Aの事例提供者を募集いたします。希望される方は下記の事務局までお問い合わせください。希望者複数の場合は研修係で調整させていただきます。

※調整中のところは, 調整が済み次第, 大会公式HP (<http://www.nu-taiiku.jp/congress/>) と学会HP 研修会・講習会案内 (<http://www.jssp.jp/koushu.html>) でご報告いたします。

#### 【問合せ先】

資格認定委員会事務局 : 〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 岐阜大学教育学部鈴木研究室

E-mail : [suzumasa@gifu-u.ac.jp](mailto:suzumasa@gifu-u.ac.jp) fax : 058-293-2292



## 7.2 スポーツメンタルトレーニング指導士資格取得講習会のお知らせ

スポーツメンタルトレーニング指導士研修会と同時刻に「スポーツメンタルトレーニング指導士資格取得講習会」を開催いたします。

本年 6 月末までに資格認定委員会事務局に所定の申請書類を提出し、書類審査に合格した方のみが受講できます。それ以外の方は受講できません。該当者には資格認定委員会より日時、講習内容等を後日ご連絡いたします（参加手続き、参加費納入等は学会申込みとは異なり、資格認定委員会が窓口となっています）。

## 8. 懇親会

日時：2011 年 10 月 9 日（日）18：30～20：00

会場：日本大学文理学部 3 号館 1 階 カフェテリアコスモス

参加費：図 2 をご参照ください。

<皆様お誘い合わせの上、是非ご参加ください>

## 9. その他

### 託児施設の開設（予定）

1号通信で周知の通り、大会期間中（3日間）、0歳から小学生を対象とした託児施設（アルファ・コーポレーション <http://www.alpha-co.com/> に委託）を会場内に開設する予定になっております。ご利用は無料です。しかし、5月31日までの希望状況が1件のみとなっているため、これ以上の要望がない場合は開設（5名以上を想定しています）を断念させていただきます。そこで、

- 利用希望調査（仮申込み）を7月15日まで延長いたします。
- ご希望の方は、「お名前、預けるお子さんの人数と年齢、預けたい期日」を明記の上、大会事務局（[jssp38@chs.nihon-u.ac.jp](mailto:jssp38@chs.nihon-u.ac.jp)）までお知らせください。

## 10. 今後の情報公開

大会公式ホームページ（<http://www.nu-taiiku.jp/congress/>）をご覧ください。

日本スポーツ心理学会第 38 回大会事務局（ご不明な点がございましたら、下記大会事務局までお問い合わせください）

〒156-8550 東京都世田谷区桜上水3-25-40

日本大学文理学部体育学科内 スポーツ心理学研究室

tel：080-4432-7767（大会事務局直通）

fax：03-5317-9426

E-mail：jssp38@chs.nihon-u.ac.jp

以 上